

平成26年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立光徳小学校)

1 平成26年度 重点評価項目

1. 確かな学力 (つけたい力を明確にした言語活動) 2. 豊かな心 (自律心と責任感の育成を目指した協働活動) 3. 健やかな体 (基本的生活習慣の確立, 体力の向上)

2 1回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価 項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					・アンケート実施 結果, その他, 指 標の結果について 整理	自己評価	学校関係者評価		
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・ 各種指標	アンケート結果・ 各種指標結果	評価日	平成26年9月30日	評価日	平成26年10月20日	
1 確 か な 学 力	授業改善・指導力 向上	・授業実践 (授業研究 年8回) ・学年での授業交流 ・ジョイントプログラムの分析	・「めあてに向かって学習して いる」 ・授業実践, 学力調査結果の分 析	・児童アンケート結果の割合が8 割である。 ・各学力調査結果は, 全市平均 であるが, 問題によっては下回 る問題もある。	評価者・組織	学校評価委員会	評価者	学校運営協議会	
	家庭学習の習慣形 成	・学校, 学年便りや懇談会での啓 発活動 ・スキルタイムでの学び方の育成	・「家で予習や復習, 宿題など ができる」 ・宿題の提出状況, 内容の点検	・児童アンケート結果の割合が8 割を超えている。 ・児童は読書の必要性は感じているが, まだ読書に親しんでいるとは言えない。	分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価によ る意見	学校運営協議会による改善に向けた支援 策	
	読書習慣の定着	・朝読書の確実な実施 ・100冊読書の取組 (読書ノートの 活用) ・読書週間 (6・10・2月) の取組	・「学校でも家でも進んで読書 している」 ・図書の貸出状況・図書ナビ, 親子読書等の取組状況	・読書ノートを活用し, 100冊読 書に取り組んでいるが, 保護者 アンケートの結果からニーズ度 が最も低い項目であった。	→	・言語活動の充実の一つとして, 各時間 の中で語合い活動の場を工夫し設定して いる。ジョイントプログラムの国語の結 果が若干上がってきた。しかし, 約1割 の児童が宿題等の家庭学習ができていな い状況である。 ・児童は読書の必要性は感じているが, まだ読書に親しんでいるとは言えない。	→	・言語環境について, 言葉で指導する だけでなく, 環境も含めて取り組んで いくというの良い。 ・保護者は「わかる授業」についての 評価はしづらいのではないか。どのよ うなところから評価しているのか。 ・学校での読書指導だけでなく, 家庭 へも読書の必要性を伝え, さらに進ん で読書する子を育てていきたい。 ・参観授業などで子どもたちの様子を 見てもらい、「学び方」そのものにつ いて説明する。	
2 豊 か な 心	人権教育の推進・ 充実	・人権学習の充実 ・人権集会の充実 ・視覚障害のある方のお話を聞く 会	・「思いやりの心が育つ」 ・子どもの状況観察	・保護者アンケート結果の割合 が8割を大きく超えている。 ・相互に仲良く優しい言葉がけ ができる様子が見られる。	→	・継割り活動の取組により, 異学年での 交流が進んでいる。また, 道徳教育の充 実により, 相手を思いやる心も育つてき つたり, 「友だちと仲良く生活」が約 90%となっている。 ・「あいさつ」については, まだ課題が 残っている。	→	・靴がきちんとそろっていたり, 廊下 がきれいに掃除されていたり, 学校が 以前と比較して綺麗になったことは, すばらしいことである。 ・道徳の授業だけでなく, CSS学習を 児童実態に合わせて充実させていく。 ・いわゆる街の子どもたちにとって, 水槽でいろいろな生き物を紹介して もらうことはとても良い。生き物に关心 のある子供が多いと聞き, 昔と変わら ないと安心した。	・何よりも学びの場としての「環境整 備」に力を注いでいる。 ・継割り活動が今後も継続し, 異学年 の交流をさらに進めていく, 思いや の心を育てていきたい。 ・児童による「あいさつ運動」をさ らに進めていくと共に, 地域でもあいさ つや声かけの輪を広げ, 日常化を目指 していきたい。
	心温かな人間関係 の育成	・継割り活動 (光徳まつり, 児童 朝会など)・児童会活動の充実	・「友達と仲良く生活してい る」 ・子どもの状況観察, 児童会活 動の取組状況	・児童アンケート結果の割合が 約9割である。 ・継割り活動以外でも学年を超 えて仲良く遊ぶ姿を見かける。	→	・「あいさつ運動」や児童会の取り組み を充実させていくことで, 決まった場た けのあいさつでなく, 時と場に合わせた あいさつができるようしていく。 ・道徳の授業だけでなく, CSS学習を 児童実態に合わせて充実させていく。	→	・朝食を食べて来ない子はいないか。 親から虐待を受けている子はいないの だろうか。 ・本校の子どもの体力の実態はどう か。また, 部活動に参加している児童 とそうでない児童の差はどうか。	・「せいかつか調べ」を従来より定期的 にしてきたが, より一層児童の生活実 態を把握していくようにする。 ・温かく見守りたい児童については, 家庭との連携を一層密にして児童の様 子をよくみつめていくようにする。
	生徒指導体制の充 実・規範意識の育 成	・あいさつ運動・CSS学習の取組 ・クラスマネージメントシートの活 用	・「すすんで元気よく挨拶をし ている・決まりや約束を守る」 ・学年ごとの朝の挨拶運動, 状 況観察	・児童アンケート結果の割合が 約9割であるが, 保護者や教職員 アンケート結果では, 約6割があ り出来ていないとらえている。	→	・休み時間に, 運動場で元気に遊んだり 運動したりする児童が多くなってきてい る。 ・高学年で, 就寝時間が10時半を過ぎて しまっている児童がいる。生活点検の機 会を活用し, 「早寝早起き朝ごはん」に ついて, 定着させたい。	→	・朝食を食べて来ない子はいないか。 親から虐待を受けている子はいないの だろうか。 ・本校の子どもの体力の実態はどう か。また, 部活動に参加している児童 とそうでない児童の差はどうか。	・「せいかつか調べ」を従来より定期的 にしてきたが, より一層児童の生活実 態を把握していくようにする。 ・温かく見守りたい児童については, 家庭との連携を一層密にして児童の様 子をよくみつめていくようにする。
3 健 や か な 体	体力の向上	・新体力テストの分析と活用・高 学年朝マラソン・運動部活動の参 加	・「元気に遊んだり, 運動した りしている」 ・部活動への参加状況, 記録会 等の結果, 体力テスト結果分析	・児童アンケート結果の割合が 約8割である。 ・部活動に積極的に参加し, 大 会でも好成績をあげている。	→	・休み時間に, 運動場で元気に遊んだり 運動したりする児童が多くなってきてい る。 ・高学年で, 就寝時間が10時半を過ぎて しまっている児童がいる。生活点検の機 会を活用し, 「早寝早起き朝ごはん」に ついて, 定着させたい。	→	・朝食を食べて来ない子はいないか。 親から虐待を受けている子はいないの だろうか。 ・本校の子どもの体力の実態はどう か。また, 部活動に参加している児童 とそうでない児童の差はどうか。	・「せいかつか調べ」を従来より定期的 にしてきたが, より一層児童の生活実 態を把握していくようにする。
	基本的生活習慣の 育成	・生活調べの分析と活用・家庭との 連携	・早寝, 早起きをしたり, 朝ご はんを食べている ・生活点検表の分析, 状況観察	・児童アンケート結果の割合が8 割を超えている。 ・約1割の児童が, 寝る時刻 が遅くなっている。	→	・「みんなあそび」 「スポーツ大会」 などクラスや学年で工夫し, 運動の樂 しさを感じる場を設定する。 ・基本的生活習慣を身につける大切さを 「保健だより」等でさらに保護者へ発信 していく。	→	・朝食を食べて来ない子はいないか。 親から虐待を受けている子はいないの だろうか。 ・本校の子どもの体力の実態はどう か。また, 部活動に参加している児童 とそうでない児童の差はどうか。	・「せいかつか調べ」を従来より定期的 にしてきたが, より一層児童の生活実 態を把握していくようにする。
	読書環境の充実	図書館, 学級文庫の活用と整備 ・地域の方々による読み聞かせ	・「子どもに読書の習慣がつく こと」 ・蔵書の量的・質的整備状況	・保護者アンケート結果の割合 3.6割程度。重要度は高いが, 実 現度が低いと感じている。	→	・静かなオルゴール曲を聴きながら心を 落ち着かせての朝読書や, 地域の方の読 み聞かせでは, じっくり読んだり, 聞い たりしてきた。しかし, 決まった時間 以外はあまり読んでない様子も見受けら れる。	→	・児童が地域によって育てられているこ とを保護者へ発信するとともに, 学校行 事についてもHPを増やし, 保護者や地 域へ情報発信していく。	・地域行事に教職員がたくさん参加し てくれるようになったことは, 地域と しててもありがたい。 ・保護者の方や地域の方にももっと地 域行事に参加してもらいたいものであ る。
4 独 自 の 取 組	地域, PTAとの連 携	・PTA, 地域行事への参加	・PTAや地域行事に参加するこ と ・各行事の参加状況	・保護者アンケート結果の割合 は, 7割を超えている。 ・教職員の各行事への参加者 数, 参加率が高まっている。	→	・地域行事やPTA行事に, 教職員の参 加者数や参加率が増えてきている。児童や 保護者の参加者数がもう少し増えるよう に学校からも声をかけていきたい。	→	・地域行事に親子共々参加してもら えるように, 学校や地域からも粘り強く 発信していきたい。	
	伝統文化の継承	・中堂寺六齋念仏を通しての地域 交流	・部活動の実施・4年生において の学習 ・部活動の参加状況, 発表会で の様子	・地域行事やPTA行事に参加 ・学習発表会で4年生が「六齋念 仏」を発表					